

熊本乃地名

ニュースレター

発行者 熊本地名研究会
会長 熊本崎康弘

題字 松野国策 書

PDF 会員は会費 4 千円に

今年度から実施

熊本地名研究会では、ニュースレター「熊本乃地名」をPDF（デジタル版）で希望される会員を対象に新たに「PDF 会員」制度を設け、同会員の年間会費を新年度（1～12月）から4千円と、通常会員より千円減額することにしました。正式には2月総会で決定されますが、会費を早めに納める方もいるため、1月に開いた運営委員会での了承を経て、事前に告知を行うものです。

今回、PDF 会員の会費を改定することにしたのは、会報を送付する際の郵便料金が昨年大幅に引き上げられたため、会報送付を郵送からインターネットに切り替えることにより、会の支出を少しでも減らすと同時に、その一部をPDF 会員に還元しようとの考えからです。

総会で予定している会則改定の骨子は、①新たにPDF 会員制を設け、PDF 会員の会費は年4千円とする、②年度途中でPDF に切り替えた場合でも会費（超過分）の返還は行わない、です。従って、PDF 会員への切り替えを希望される方は、今月の会報に同封されている郵便局の振込用

紙に「PDF での送付を希望」と書いて、会費4千円をお納めください。

新たにPDF 会員となられる方は、送信のためのメールアドレスが必要となりますので、必ず事務局のメールアドレスまでお知らせください。PDF 会員になられた場合の配布条件、注意事項は左記の通りです。

①PDF 会員には印刷物での郵送はしない②受け取った会報データは許可なく他人に渡さない（必要な場合は事務局に申し出てください。これは無制限のデータ流出を防ぐためです）

なお、会報を印刷物で受け取られる方はこれまで通り、5千円の振り込みをお願いします。【事務局メールアドレス】←

全国地名研究者大会

5月に土佐の高知で

恒例の全国地名研究者大会（日本地名研究所など主催）は今年、5月16日（土）と

*地名研ブログでも会の活動や関連ニュースを発信中



地名研究会 告知板

3月 行事日程

❖例会

「人吉球磨の地形・地質よもやま話」
熊本地学会副会長・村中雄一郎氏
3月22日（日）午後1時30分 パレア会議室

❖勉強会 テキスト「地名の研究」柳田國男著

3月21日（土）午後1時30分～ パレア会議室

17日（日）の2日間にわたり四国の高知市で開催される。テーマは「土佐の地名と風土」。

1日目は高知市の県民文化ホールで講演や研究報告がある。午前9時30分に開会。午前の講演は、金田久璋同研究所長が「四国の民俗の歩き方―餅なし正月・来訪神・森神信仰」の題で話し、次いで服部英雄九州大名学教授（前・熊本文学・歴史館長）の「民衆知の地名とは」、上野智子高知大名学教授の「土佐の高知の播磨屋橋で」と続く。午後の研究報告は「地名を記録する装置」のテーマのもと、各界から5人が報告を行う予定。

2日目のエクスカッション（小旅行）は

2コースに分かれて行われる。Aコースは「土佐のまほろば」と題し、土佐国衙（紀貫之邸）・土佐国分寺・高知県歴史民俗資料館・岡豊城址などを回る。Bコースは「四国遍路のミニ体験」の題で、土佐神社・善楽寺・五台山（ミニ八十八カ所）・牧野植物園などを回る。いずれのコースも午後3時ごろに土佐龍馬空港で解散予定。

大会参加費は2千円、1日目昼食希望者は千2百円、交流懇親会参加希望者は8千円、2日目のエクスカッションは2コースとも5千円となっている。申し込み方法は①郵送②FAX③メール、の3通り。①のあて先は、〒213-0001川崎市高津区溝口1-6-10 川崎市生活文化会館内「日本地名研究所」事務局へ。②はFAX番号044-812-1191、③は地名研究所ホームページから「全国地名研究者大会フォーム」に記入して送信する。いずれも、氏名（ふりがな）、男女の別、年齢、郵便番号・住所、電話番号、メールアドレスを記載したうえで、1日目の大会、1日目の昼食、交流懇親会、エクスカッション（コース別）、それぞれについて参加の有無を明記すること。

申し込み後、事務局より大会参加証と振込用紙が送られてくるので、確認後に入金する。高知までの交通機関や現地の宿泊先は参加者それぞれが確保すること。申し込み期間は2月1日から4月30日まで。問い合わせは同研究所事務局（電話 044-812-1106まで）。

【訂正】ニュースレター1月号の長谷元教授の講演記事で、2頁2段目4行目の「亜寒帯」は正しくは「温帯」でした。お詫びして訂正します。